

令和8年度 土木学会全国大会 で発表しました

開催場所：北海学園大学豊平キャンパス・北海商科大学他
開催日：2026年8月31日～9月4日
主催：（公社）土木学会

[共通セッション] 構造物の設計/維持管理におけるAI/DX

公園緑地事業におけるBIM/CIM導入に着目した課題と展望 (森岡 千恵・田中 椋・小島 孝文)

国土交通省ではICT活用の一環として、2023年に小規模工事を除く全ての直轄土木工事・業務にBIM/CIMを原則適用としているものの、小規模多工種、かつ、成長する樹木等の自然物を取り扱う公園緑地分野では、上記の導入はほとんど進んでいない状況にある。

本発表では、小規模公園を想定したBIM/CIMモデルの構築と「BIM/CIM積算」の試行を通じて、公園緑地分野へのBIM/CIM導入により得られる効果と課題を整理した。

The slide content is as follows:

RESULT 2
数量計算・積算：既存ツールで実行可能な範囲を把握

Flowchart: 3Dモデル (IFC形式) → データ変換 (XML形式) → 設計数量管理 (数量算出) → 積算確認 (コード適用)

OK	！
そのまま適用できた範囲	手入力・修正が生じた範囲
例：溝・集水樹等、土木工事のコードをそのまま適用できる対象は問題なく積算	土木工事と公園緑地で工種体系ツリーや数量単位が異なる対象は、部分的な修正が必要

成果：全面適用ではなく、「使える範囲」と「変換が必要な境界」を特定